

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	ちびっこ老人憩いの広場事業			事業番号	014-024
担当部署名	子ども青少年	局	子ども青少年育成	部	子ども育成
					課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ~Children's future~	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れ目のない子育て支援の充実	
		有	取組の方向性	③学齢期・青少年期の子ども・若者と家庭への支援				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		
1	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(山)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.3	
		有	取組	地域住民のつながり強化、住民自治の推進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画	堺市子ども・子育て総合プラン						
3	事業開始年度	昭和 49 年度		点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市ちびっこ老人憩いの広場助成要綱						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁・地域団体及び市民				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	ちびっこ老人憩いの広場：市内60ヶ所（令和3年4月1日現在）				
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	幼児に適切な遊び場を与えて事故等の危険から守ること、また、高齢者のための憩いの場として両者の交流を図ることにより、幼児の健全な育成に寄与する。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	ちびっこ老人憩いの広場を管理する自治会等の地域団体からの申請を受け、遊具、フェンス等の修繕等を助成する。				
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	ちびっこ老人憩いの広場を管理する自治会等の地域団体				
10	公民連携・協働事業					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		目標	目標	点検年度
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和7年度	
11 広場事故件数	件	目標値	0	0	0		
		実績値	0	0			
		達成率	100%	100%			
当該指標を選定した理由		幼児等を事故等の危険から守ることが事業目標のため。					
目標値の設定根拠・算出方法		0件を目標とする。					
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標		
			令和元年度	令和2年度	令和3年度		
12 助成件数	件	目標値	10	10	10		
		実績値	13	9			
		達成率	130%	90%			
当該指標を選定した理由		適切な維持管理につながるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		予算の範囲内での実績による。					

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	ちびっこ老人憩いの広場事業	事業番号	014-024
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	1,458	1,939	1,890	2,956	1,680
13 財源内訳	国支出金				
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	1,458	1,939	1,890	2,956	1,680
14 人件費 (b)	1,810	1,790	1,890	1,890	1,890
15 年間経費(c)=(a)+(b)	3,268	3,729	3,780	4,846	3,570

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源		
								R2	決算
16 事業費内訳	消耗品費 (ペンキ等)	R2	決算	21	21	R2	決算		
		R3	予算	30	30	R3	予算		
	修繕料	R2	決算	1,396	1,396	R2	決算		
		R3	予算	1,100	1,100	R3	予算		
	撤去工事費	R2	決算	1,503	1,503	R2	決算		
		R3	予算	500	500	R3	予算		
施設賠償責任保険料	R2	決算	36	36	R2	決算			
	R3	予算	50	50	R3	予算			
	R2	決算			R2	決算			
	R3	予算			R3	予算			

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① 助成件数	件	13	9
② 上記①にかかる年間経費	千円	3,729	4,846
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	286,846	538,444
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 ちびっこ老人憩いの広場として活用されない広場について、都市公園へ移管もしくは広場廃止を行った。(3ヶ所の広場廃止)
令和2年度は修繕内容が複雑なもの複数あったことや(フェンス修繕において地中埋設物が発見されたりフェンス基礎部分から修繕することにより、フェンス修繕以外の経費が発生したため)広場廃止に伴う撤去工事を行ったため、令和元年度と比較して単位当たりの経費が増加する要因となった。
修繕等の緊急性の高い広場を中心に予算の範囲内で必要な修繕等を行うことができた。
引き続き、予算の範囲内で広場の安全安心の確保に取り組み、また、活用されない広場については廃止等を進めていく。

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 幼児の遊びの場及び高齢者のための憩いの場として、遊具等への修繕助成により広場内の危険リスクを減らし、両者の交流を図ることで幼児の健全な育成に寄与している。